



2019年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月2日

上場会社名 株式会社フジコー 上場取引所 東
 コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 直人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 佐藤 陵枝 (TEL) 03(3841)5431
 四半期報告書提出予定日 2018年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第1四半期の連結業績(2018年7月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	935	4.0	72	△11.9	69	△3.0	50	4.1
2018年6月期第1四半期	899	△10.7	82	△35.6	71	△33.8	48	△27.3

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 50百万円 (4.1%) 2018年6月期第1四半期 48百万円 (△43.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	11.21	—
2018年6月期第1四半期	10.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	6,000	2,143	35.7
2018年6月期	6,125	2,120	34.6

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 2,143百万円 2018年6月期 2,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,800	3.2	97	△28.1	65	△43.2	40	△44.6	8.81
通期	3,630	5.9	200	4.4	150	6.4	90	57.7	19.82

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期1Q	4,541,000株	2018年6月期	4,541,000株
2019年6月期1Q	123株	2018年6月期	123株
2019年6月期1Q	4,540,877株	2018年6月期1Q	4,540,877株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における取り組みとして、建設系リサイクル事業においては、計画的な受入数量の調整と施設の安定稼働による処理数量の向上を推進することにより、外注委託費用及び維持管理費用の削減に努めてまいりました。廃棄物処理に関しては旺盛な処理需要が継続しておりますが、処理廃棄物の高カロリーに加え外注委託先の補修工事による受入制限等により厳しい稼働状況でありました。食品系リサイクル事業においては、液状化飼料の販売拡大に対応した新規受け入れ先の開拓、白蟻解体工事においては、白蟻防除及び解体工事の受注拡大に対応して施工体制の強化に努めてまいりました。森林発電事業は、木材の効率的な乾燥による燃料となる木材の使用数量の削減に注力するとともに一般家庭向けの電力小売事業の拡大に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は935百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

売上原価は808百万円（前年同期比7.1%増）となり、既存事業においては維持管理費が前年同期比で増加するとともに森林発電事業で電力仕入費が増加したため、売上総利益は126百万円（前年同期比12.2%減）となりました。計画比では売上高が50百万円、売上総利益が28百万円上回っております。

販売費及び一般管理費は54百万円（前年同期比12.6%減）となり、営業利益が72百万円（前年同期比11.9%減）となりました。経常利益は69百万円（前年同期比3.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

① 建設系リサイクル事業

建設系リサイクル事業は、外注委託数量を考慮した受入態勢を継続したため、受入数量は前年同期と比較して23.3%の減少となりました。焼却施設の稼働率は91%、点検工事により前年同期比で1.1%低下しております。発電施設の稼働率は88%、安定稼働により前年同期比で6.5%向上しております。新規取引先の拡大と同時に、施設の安定稼働に努めてまいりました。発電施設はボイラーの冷却装置の効率化により、計画通り推移しております。新築工事現場からの収集運搬事業も回復傾向であり、売上高は前年同期比で79.3%増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は356百万円（前年同期比10.3%減）、売上原価は331百万円（前年同期比4.7%減）となった結果、営業利益は25百万円（前年同期比49.2%減）となりました。

② 食品系リサイクル事業

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売数量が好調に推移しております。安定した品質を継続するため、食品循環資源の新規契約先の開拓に注力してまいりました。その結果、新規受入先の契約が見込まれるため、第2四半期より受入数量が増加する見込みです。再資源化センターでの合計受入数量は前年同期比で2.4%減少しておりますが、堆肥化数量を削減したため、液状化飼料の販売数量は増加傾向で推移しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、液状化飼料の販売数量が増加したこと等により43百万円（前年同期比2.2%増）、売上原価は42百万円（前年同期比12.0%増）となった結果、営業利益は1百万円（前年同期比77.4%減）となりました。

③ 白蟻解体工事

白蟻解体工事は、解体工事につきましては施工体制の充実に努めた結果、計画通り推移しておりますが、一般個人からの受注変動により売上高は前年同期比で4.2%減少しております。また、白蟻工事は新築工事、既存工事ともに売上高が増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は58百万円（前年同期比0.4%減）、売上原価は55百万円（前年同期比0.9%減）となった結果、営業利益は3百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

④森林発電事業

森林発電事業は、発電燃料となる木材の乾燥促進による含水率の低下とともに様々な形態の木材を効率的に破碎、混合することにより、100%に近い発電数量で安定稼働を継続しております。現在は発電施設敷地内を含め6ヶ所の貯木場を設けておりますが、より一層の含水率の低減に向け、在庫方法の効率化に注力しております。電力小売につきましては一般家庭の受注拡大を目的として、住宅フェアへの出展、発電施設近隣の地元ラジオでCMを活用する等、知名度の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は476百万円（前年同期比19.1%増）、売上原価は379百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益は82百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて124百万円減少し、6,000百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、前連結会計年度末に比べて2百万円減少し、1,701百万円となりました。固定資産については、減価償却等により前連結会計年度末に比べて121百万円減少し、4,299百万円となりました。

流動負債については未払金の支払等により、前連結会計年度末に比べて51百万円減少し、1,238百万円となりました。固定負債については借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べて96百万円減少し、2,619百万円となりました。

純資産については、配当及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べて23百万円増加し、2,143百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は、建設系リサイクル事業において焼却施設の受入制限等により前年同期を下回っておりますが、森林発電事業の電力小売事業が堅調に推移しております。売上原価につきましては、維持管理費等及び電力仕入費用が計画を上回っておりますが、焼却施設においては効率的な燃焼による処理能力の向上を進めるとともに、森林発電事業においては使用木材の乾燥促進に注力することにより使用数量が低減しております。今後も既存事業の収益改善を見込むとともに、森林発電事業の安定稼働、電力小売事業の拡大に努めてまいります。

現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	935	899	35	885	50
売上原価	808	754	53	787	21
売上総利益	126	144	△17	98	28
販売管理費	54	62	△7	58	△4
営業利益	72	82	△9	40	32

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	838,067	804,365
売掛金	476,746	457,695
たな卸資産	270,867	318,110
その他	119,705	121,618
貸倒引当金	△700	-
流動資産合計	1,704,685	1,701,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,811,154	2,811,154
減価償却累計額	△991,283	△1,013,433
建物及び構築物(純額)	1,819,871	1,797,720
機械装置及び運搬具	4,512,343	4,511,924
減価償却累計額	△2,529,982	△2,601,475
機械装置及び運搬具(純額)	1,982,361	1,910,449
土地	271,166	271,166
その他	63,102	64,100
減価償却累計額	△36,810	△38,029
その他(純額)	26,292	26,070
有形固定資産合計	4,099,691	4,005,408
無形固定資産	18,094	16,836
投資その他の資産		
投資その他の資産	302,675	276,949
投資その他の資産合計	302,675	276,949
固定資産合計	4,420,460	4,299,194
資産合計	6,125,146	6,000,985

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	261,675	287,144
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	592,961	581,543
未払法人税等	34,623	10,406
賞与引当金	-	18,228
その他	200,459	140,833
流動負債合計	1,289,720	1,238,156
固定負債		
長期借入金	2,492,675	2,400,450
資産除去債務	109,930	110,007
その他	112,695	108,609
固定負債合計	2,715,301	2,619,067
負債合計	4,005,021	3,857,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,873	629,873
資本剰余金	694,539	694,539
利益剰余金	795,771	819,408
自己株式	△59	△59
株主資本合計	2,120,124	2,143,761
純資産合計	2,120,124	2,143,761
負債純資産合計	6,125,146	6,000,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
売上高	899,382	935,224
売上原価	754,831	808,343
売上総利益	144,551	126,880
販売費及び一般管理費	62,235	54,363
営業利益	82,315	72,516
営業外収益		
受取利息	16	6
保険解約返戻金	-	9,525
その他	472	641
営業外収益合計	488	10,173
営業外費用		
支払利息	8,394	7,820
支払手数料	2,441	2,440
その他	280	2,922
営業外費用合計	11,116	13,184
経常利益	71,687	69,505
特別利益		
固定資産売却益	815	13
特別利益合計	815	13
特別損失		
固定資産除却損	2,010	0
特別損失合計	2,010	0
税金等調整前四半期純利益	70,493	69,519
法人税、住民税及び事業税	13,068	15,542
法人税等調整額	8,552	3,094
法人税等合計	21,620	18,637
四半期純利益	48,872	50,882
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,872	50,882

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	48,872	50,882
四半期包括利益	48,872	50,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,872	50,882
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	398,056	42,836	58,741	399,748	899,382	-	899,382
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	398,056	42,836	58,741	399,748	899,382	-	899,382
セグメント利益	50,179	4,702	3,075	82,921	140,879	△58,564	82,315

(注) 1. セグメント利益の調整額58,564千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	356,922	43,775	58,516	476,009	935,224	-	935,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	356,922	43,775	58,516	476,009	935,224	-	935,224
セグメント利益	25,492	1,062	3,378	82,373	112,307	△39,790	72,516

(注) 1. セグメント利益の調整額39,790千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。